

木の家造りを通じて暮らしを提案する

KoKola**b.**

隔月刊ココラボ通信

NO. 50

2014.August

完成現場報告 藤枝市／「rough [ラフ]の家」

時がつくる暮らしの味わい

「こころぼスクール 2014」第一回報告

緑を身近に！
はじめての庭づくり



右) 活動的なダイニングキッチンとオープン付きの薪ストーブ。キッチンやテーブル、薪ストーブなどどれも個性的なデザインでまとめられ、『ラフの家』ならではの独特な雰囲気をつくっている。

左) 天井と梁、柱には柿渋を塗り、山桜の床板と合せて落ち着いた色合いでまとめている。また、テーブル上とソファコーナーには真鍮で作られたペンダント [flame (フレイム)] を配置している。

下) 北側道路からの玄関写真。外壁の杉板、アイアンで製作したポストと手摺、敷瓦の階段など、外観からみても『ラフの家』の雰囲気が感じ取られる。



時がつくる 暮らしの味わい

完成現場報告

藤枝市 / 『rough「ラフ」の家』

文・写真 / コロラボ 山崎健治



コロラボの家づくりでは、毎回その家の特徴やお施主さんのイメージに合せたタイトルを付けさせていただいています。今までも色々なタイトルを付けさせていただきましたが、今回ご紹介するお宅のタイトルは『rough「ラフ」の家』と名付けられ、今までと比べても一風変わったネーミングとなりました。

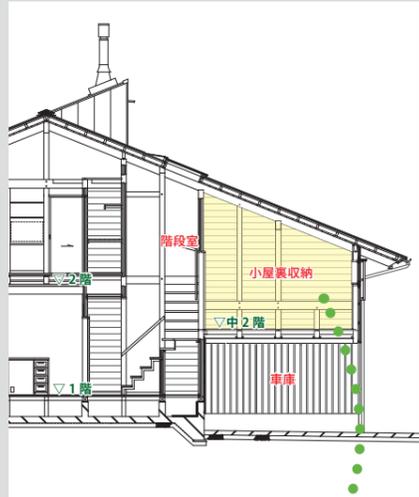
「ラフ」な家

「ラフ」と聞くとみなさんはどんなイメージを持たれますか？ 荒々しい、自由、気取らない；きっとこんなイメージをもたれると思います。どちらかと言えば新築の住宅に適したタイトルには聞こえないですよね。私もタイトルを考えている当初はこのネーミングで大丈夫かな？ と少し不安もありましたが、今ではとても気に入っているタイトルの一つで、今回号の写真などをご覧いただくと、何となくその雰囲気を伝えてできると思います。

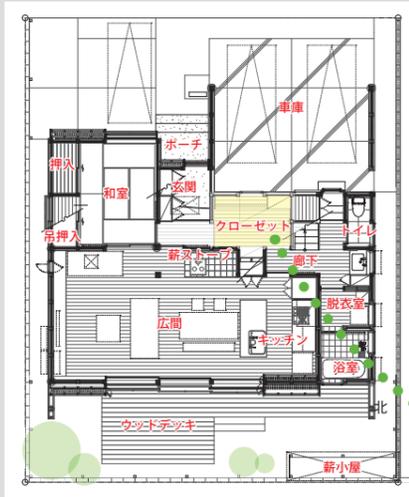
施主のOさんご夫婦とはじめて知り合ったのは今から3年程前の完成見学会。当初は土地を探されていて、具体的な家づくりはこれからといったタイミングでしたが、お話をしていると言葉の端々から造りたい家のイメージが伝わってきたのを今でも覚えています。具体的なイメージではなかったと思いますが、荒削りでも本物の素材で造りたい。単に見た目の綺麗な家ではなく、時間の経過と共に味わいを増す家造りたいと話されていました。Oさんの思いは強く、また私も家づくりに対する同じ気持ちを持っていたので、是非一緒に家づくりをさせていただきたいと思いました。その後、奥さんの頑張りで今まで住んでいた家の近くに良い土地を見つけれ、徐々に具体的な家づくりがスタートしていきました。

中二階のある間取りと 収納計画

『ラフの家』で初めてチャレンジしたスキップフロアーの設計。平面だけでなく空間を立体的に考えていく事で、間取りの可能性もまだまだ膨らみます。中二階に設けた収納スペースと共に、玄関周りの収納計画も合わせてお伝えします。



断面図



1F 平面図



上) 北側の中心に配置された玄関は少し暗くなるため天窗を設けた。写真ではわかりづらいが、上からの光が玄関全体を明るくし、高い天井と合せて開放的な玄関となった。

下) 玄関脇に設けたクローゼット。家族みんなの上着やバック、日用品などが収納されている。



車庫上部、中二階の収納スペース。12帖と大きなスペースで、ご主人の趣味道具であるサーフボードや自転車も収納。



2F 平面図

右) 2階から葺き下ろした大屋根とロフトのハイサイド窓が特徴的な外観。ハイサイド窓は採光や通風の他、薪ストーブの煙突掃除用の出入口の役割も兼ねている。

下) 車庫の上は中二階の収納スペースとなっている。車庫の天井高さを2m10cmと低く抑え、中二階までの動線をコンパクトに移動できるように計画した。



中二階のある間取り

打合せの当初から家のコンセプトは固まっていたが、具体的な間取りとしていくため、実際にお住まいになっただきなお宅にお伺いし、お話を聞かせていただきながら全体のプランを考えていきました。

Oさんご家族はお子さん二人の4人家族です。二人のお子さんがサッカーを頑張っている事もあり、元々お住まいになっていたお宅の玄関廻りにはサッカー用品などがたくさん置かれていました。そして、玄関近くと2階の納戸にはOさんの趣味の道具もたくさんあり、新しい家ではなるべく出し入れしやすい場所にそれらを収納したいという希望がありました。ですがOさんの趣味の道具がなかなか手強い…。自転車数台にサーフボード、キャンプ道具などもたくさんありました。どれも大切にしている物なので外に置いておく訳にはいきません。ですが、1階のスペースには広間やキッチン、水廻りなども配置するため大きな収納スペースを確保する事は難しく、2階では出し入れが大変で今までと変わらない。最終的にはご要望の中にあつた車庫スペースを家の中に取り込み、その車庫スペースの上部空間を収納スペースで活用した中二階のある間取りを提案しました。車2台分の車庫スペースの上部は12帖の大きな収納を造る事ができ、また、2階への移動に比

べ、半分の階段で上り下りができます。中二階は仕切りもなくワンルームの大きな収納空間ですが、これからの暮らしに合せて色々変化できるスペースにもなるという事でこの案で決定しました。

収納計画でもう一つ、『ラフの家』には無くてはならないスペースとして設けたのが玄関脇のクローゼットスペースです。先にもお話ししましたがお子さん二人がサッカーを頑張っていると言う事でバックやユニフォーム、靴などのサッカー用品がいっぱいあります。そしてご夫婦も応援や送り迎えをするので防寒着なども掛けておきたい。毎日使うものだからやっぱり玄関近くに置き場所があると便利と言う事でのスペースはできました。"行ってきます"の時も"ただいま"の時も通過するこの場所は、毎日の生活の中で重要なスペースとなっています。

仕様内容

家族構成	家族4人
敷地面積	250.72㎡
建築面積	137.69㎡
延べ床面積	177.24㎡
構法	落し板壁構法 2階建て
屋根	ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き
外壁	杉赤味板 大和貼し 真鍮釘打ち
外部建具	木製オリジナル建具 タモ、ナラ、ヒバ ペアガラス アルミサッシ (ペアガラス)
天井仕上	杉板本実張り 厚12mm
壁	漆喰塗り、土塗り、落し板現し
床	山桜本実板 厚15mm 杉本実板 厚30mm
内部建具	オリジナル木製建具
キッチン	オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル化粧台
浴室	オリジナル浴室
	壁、天井：青森ヒバ 床、腰壁：サーモタイル 200角貼し
設計者	山崎健治
施工	有限会社 ころも 木造建築研究所
竣工	平成25年11月



和室の襖にステンドガラスの引手を設けた。光の透け方が綺麗で、来客を楽しませてくれるアイデア。



2階のベランダ手摺も一部アイアンで製作。アイアンならではの雰囲気が出ている。



洗面カウンターの袖に縦型収納を設けた。洗面廻りの細かな物やタオル、ドライヤーなどを収納。



青森ヒバの壁にホーローの浴槽を配置。浴室のタイル工事は奥様のお父さんが製作してくれました。

キッチン



特徴的な水栓が目目を惹くオリジナルキッチン。パンづくりなども行う奥様が細部まで考えた機能型のキッチン。大型の食器洗浄機やガスオーブンも組み込み、ストレス無くお料理が楽しめると思います。



和室



格子の勾配天井や深い色の土壁、襖の塗り縁もシックな色合いでまとめられた和室。北側の窓には障子の他に藁で製作した簾戸を設けた。簾戸は風を通しながら視線を遮る優れたもの。



薪ストーブ



薪ストーブ: Ken's METALWORK KMW-940-oven

家の中心に配置された薪ストーブ。家全体を効率よく暖める目的の他、洗濯物の乾燥にも利用。暖められた空気がスノコ床を上昇し、冬場の洗濯物を乾かしてくれます。

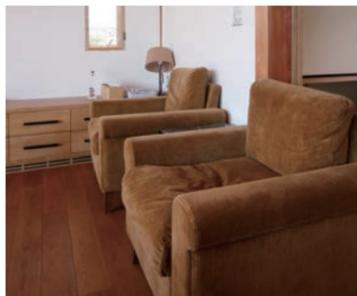
暮らしに役立つ工夫

収納計画の他、『ラフの家』では毎日を快適に過ごすための工夫もあちらこちらで見られます。コロボの家づくりで定番となった薪ストーブですが、今回は少し変わった利用をしています。薪ストーブは家の何処に置くのが良いか？ 間取りを考えるタイミングと合せて早い段階で考えなくては行けない要素のひとつです。今回はなるべく効率良く1、2階を暖められる様に言う事で、家の中心付近に薪ストーブを配置し、煙突の通過する2階部分の床を吹抜けとする案になりました。ここまでは一般的な利用方法ですが、折角暖かな空気が上昇するのなら、この場所に洗濯物の干し場を設けたい」と奥さんのアイデア。確かに、いかにも乾きそうな場所ですね。みんな納得のアイデアという事で早速採用となり、吹抜けの床に格子を設け、アイアンで製作したちよつとオシャレな造り付けの物干竿を取り付けました。洗濯物は毎日欠かさず出るもの。冬はなかなか乾き難い季節ですが、この場所ならあつという間に乾きそうですね。薪ストーブの利用方法として新しい発見をさせていただきました。

『ラフの家』には来客用として設けた6帖の和室があります。玄関近くに設けたこの和室にも少し変わった工夫がされています。和室は北側に面している事から道路か

素材の力と経年変化

間取りや細かな工夫、また天井や梁などに柿渋を塗るなど、今までと少し違った雰囲気となったお宅ですが、今回ご紹介した『ラフの家』の家づくりの中で、一番大切にしたい事は時間の経過と共に味わいが増す家をつくるという事。快適に毎日を暮らす上で間取りや細かな工夫も大切な要素ですが、Oさんは素材選びに最も気を使い、妥協する事無くひとつひとつを慎重に選んでいたように思います。外壁に使った杉板、床板に選んだ山桜、薪ストーブの炉台と玄関に使った敷瓦、家具の取手やベランダの手摺に使ったアイアンやステンドガラスなど、その素材をじっくりと選び、最後まで諦めず検討していきました。ひとつひとつの素材は個々に個性もあり、また誰もが受け入れられる素材という物ではないと思いますが、使い込まれる程に味が出て、だんだんとこの家に馴染んでくる素材だと感じています。そして、これらの素材はどれも本物で作られていて、傷がついても、汚れても、色が変わってもその魅力は変わりません。時間と共に味わいを増す素材と言うのは、そこに暮らす家族の思いや時間をもう受け入れる事のできる素材」と言う事かもしれません。木や土や石、長い年月を経てこの世に誕生した素材には、やはり計りしれない力があるのだと感じました。



『ラフの家』に置かれているテーブルやソファは、Oさんが選んだ家具「TRUCK(トラック)」。独特の世界観のある家具です。ご興味のある方は是非ご参考に。

らの視線が少し気になります。障子を閉めて目隠しもできますが、夏場はやはり風を通したいと言う事で、障子の他に藁で製作した簾戸を設け、暮らしに合せてどちらも簡単に開け閉めできる様にしました。簾戸を閉めておく外からは全く室内の様子が見えませんが、室内からは明るい外の様子がよく見えます。簾戸は風を通しながら視線を遮る昔ながらの工夫ですが、見た目にも涼しく、また和室の雰囲気も落ち着きますね。家づくりには是非参考にしてみてください。毎日快適に過ごすと言う点では、やはりキッチンのこだわりもご紹介したいと思えます。日頃から自宅で作るパン作りを行っている奥さん、新築の家には是非取り付けたいと狙っていた設備がありました。その設備は最近では珍しくなくなった食器洗浄機とガスオーブンですが、Oさんが求めているものは住宅用としては驚きの大きさと能力のものでした。食器洗浄機にはお鍋数個も楽々入り、ガスオーブンは大きさと火力が本格的。見た事も無い設備機器に職人達もビックリしていましたが、説明書を読みながらなんとか無事に取り付け事ができました。その他、キッチンの収納や素材、水栓器具なども時間を掛けてじっくりと選び、まさにオリジナルのキッチンができました。

『ラフの家』が完成し8ヶ月程が経過しました。少しずつお気に入りの家具や生活道具が入り、また少しの変化ではありますが、床や梁の色が変わり、だんだんとこの家の雰囲気が感じられるようになってきました。まだまだ経年変化を楽しむという所まではいきませんが、時間の経過と共にきつと味わい深い家になっていくと思います。

今回の家づくりを通して、『ラフ』という言葉の中に、単に自由で気軽という意味合いだけでなく、製作者の思いや本物の良さがあつて感じられる雰囲気というものを実感する事ができました。これからも、単に装飾品で着飾る事ではなく、ラフで伸び伸びとした家づくりをしていきたいと思えます。

苔玉の作り方！



講師：良知樹園株式会社
代表 良知 正浩

1968年静岡県焼津市生まれ。
良知樹園株式会社、ONIWA Garden&Café代表。
「豊かさの創造」のコンセプトのもと、緑のある暮らしをはじめ、楽しめるお庭、遊べるお庭を提唱。植樹1本からのお庭づくりはもちろん、内装、Re・ガーデン、お庭から考える家造りまで、その提案は多岐に亘る。大切なのは、そこに住まう人がHappyに日々の生活を楽しめる空間を創造すること。企業理念は「緑を通じて豊かさを創造する」

用意するもの

- ◆ 植物
- ◆ 赤玉土(細かいもの)
- ◆ コケ(ハイゴケ、シノブゴケ等)
- ◆ 黒い木綿糸やテグス
- ◆ ハサミ
- ◆ ケト土
- ◆ 富士砂
- ◆ 霧吹き
- ◆ 洗面器やボウル

苔玉の水やり

水を入れたバケツに苔玉をしっかりと浸してください。空気が出なくなったら、苔玉を水を張っていないお皿に置いてあげてください。

苔玉は、私たちの日常生活している環境と同じくらいの日射量で十分ですが、水分を多く含んだ場合には、風が通るデッキやベランダにしばらく置いてあげる等して余分な水分を飛ばす事も大切です。



- 参考文献：
- ・苔玉と苔 小さな緑の栽培テクニック (NHK 出版)
 - ・1本から楽しむ小さな雑木の庭 (主婦と生活社)



下準備

ケト土3：赤玉土1：富士砂1の割合で洗面器の中へ入れる。用意したコケに霧吹きで水をかけて湿らせておく。



手順 1

ケト土を崩しながら混ぜ合わせ、霧吹きで水分を吹きかけ、粘土状になるまでよくこね、泥団子状にしておく。

Point ポロポロと土がまとまらない状態はNG。霧吹きで水をたくさんかけて



手順 2

植物をポットから取り出し、底や根元に着いた土を落として大きさと形を整える。

Point 根が多すぎた場合はハサミで切ってあげるとよい



手順 3

手順1で作った土をのばし霧吹きで湿らせながら、植物の根を覆うように上からくっつけていく。底の部分は水ハケのため指1本分程度土を付けないようにします。



手順 4

コケを広げ、土にしっかりと貼り付ける。



手順 5

コケが定着するように糸またはテグスを巻きつけます。

Point 毛糸だまを作る要領で黒い糸を巻きつける

「こころぼスクール2014」 はぐくむー暮らしの中で育む住まいー

第1回 WS 報告

緑を身近に！ はじめての庭づくり

住まいづくりと共に庭づくりをしたい！ そう考える方は多いと思います。でも、木の種類や特徴などを考えると素人には難しそうですよね。そこで、2014年度の第1回こころぼスクールでは、造園屋さんへ行って植木畑を散策しながら気軽に緑を取り入れるためのお話をさせていただきました。そして、緑に直接触れる事ができる苔玉づくりにもチャレンジしましたよ！



様々な樹種を間近で見ながら説明を聞く事ができました。木漏れ日の中の散策は参加者の皆さんも楽しんでおられました。

第一回目のワークショップでは「緑を身近に！ はじめての庭づくり」と題して、庭づくりのプロである造園屋の良知さんに講師をお願いしました。今回は、開催場所が外だったため、直前まで天候の心配をしていたのですが、おかげさまで晴天に恵まれました。造園屋さんの植木に囲まれた中で皆さんと一緒に気持ちよく作業を行う事ができました。

「庭づくり」は「土」からはじめる

私たち人間が、心地よい住まいを求めようように、植物にも成長を妨げない土壌が必要。庭づくりをする上で一番大切な事は、植物が育ちやすい「土壌」をつくってあげることです。植物は、根から水分や養分を吸収して取り込んでいますよ。私たち人

間が、食べ物を食べることが不可欠なように、植物も土壌から食事をとっているのです。そのため、その土壌には、栄養があり有機物が多い保水性がある土がよいのですが、同時にほどよく排水性と通気性のある土でないといけない。病気になる「住まい」でもあるので、健全な状態に保つてあげることが大切なのです。

「剪定」のコツを知ろう

植物は、それぞれ成長の速さが違います。ケヤキやクヌギ等の主木となる木は、成長が速く、住宅の庭に植えるには大きくなりすぎて手入れを怠ると大木になってしまいます。限られた庭の空間では、植物の成長を調整していくには剪定が必要です。剪定は、太くなった枝を切り、新しい若い枝と交代させてあげる事がポイントです。ヤマボウシやアオダモ等の株立ちの木も、太くなりすぎた幹があれば、それを根元から切って若い枝と世代交代をさせてあげる事で、植物の大きさを調整する事が出来るだけでなく、若い枝葉を楽しむことができます。植物の生育の仕方を知る事で、剪定などのお手入れ方法もかわってきます。

庭は住まいを彩り、日々の生活に潤いを与えてくれます。でも、それを維持するた



作業中は大人も子供も真剣そのもの。使用する植物は、ローズマリー・モミジ・ハツユキカズラを用意していただきました。しばらく観賞してから地植えも可能。



WSの後には、相談会を行いました。皆さんご自宅の庭の相談をするだけでなく、残った他の参加者の相談内容も熱心に聞いておられました。

めにはお手入れはかせません。はじめから自分で全てやるのではなく、できそうな事から始めるのも良いのではないのでしょうか？ 剪定は造園屋さんにお願いで、そのコツや植物の特徴などをアドバイスしてもらいながら、お手入れをしていくのも良いと思います。自分でできることが少しずつ増えてくると、緑がもっと身近になって、庭づくりも楽しくなるはずですよ。まずは、お気に入りの植物を探しに出かけてみましょうか？ その植物と一緒に、暮らしを育んでいくのも楽しそうですね。

(文・夏梅真澄)

ただける内容にしたいと心掛けて製作してきました。おかげさまでコラボ通信は読みやすい、解りや



2006年6月からスタートしたコラボ通信が今月号で50号を迎えました。会社設立当初ス

すい"というお言葉も頂き、製作の喜びにもなっています。ココラボ通信



30号の表紙をリニューアルした30号。雲田君を写真一枚で表現する事は難しいですが、力のある写真を撮り伝えたいと思い一新しました。4 通信設置店の紹介。今では70店舗となった設置店さん、毎回楽しい情報を頂き、通信を見てお店を訪ねてくれる方も増えてきました。



クールで学んだ事やワークショップで体験した事、また実際に建築させて頂いたお宅の記録としてスタートした冊子ですが、号数を重ねるごとに伝えて行きたい事や見てもらいたい事が増え、特集の中では、シロアリ対策の考え方や、化学物質を使わない木の家のお掃除方法などを掲載しました。

2006年6月からスタートしたコラボ通信が今月号で50号を迎えました。会社設立当初ス



30号の表紙をリニューアルした30号。雲田君を写真一枚で表現する事は難しいですが、力のある写真を撮り伝えたいと思い一新しました。4 通信設置店の紹介。今では70店舗となった設置店さん、毎回楽しい情報を頂き、通信を見てお店を訪ねてくれる方も増えてきました。

30号の表紙をリニューアルした30号。雲田君を写真一枚で表現する事は難しいですが、力のある写真を撮り伝えたいと思い一新しました。4 通信設置店の紹介。今では70店舗となった設置店さん、毎回楽しい情報を頂き、通信を見てお店を訪ねてくれる方も増えてきました。

祝!

ココラボ通信 50号

ココラボ通信の歩みとこれからの役割

2006年6月からスタートしたコラボ通信が今月号で50号を迎えました。会社設立当初ス

すい"というお言葉も頂き、製作の喜びにもなっています。ココラボ通信

30号の表紙をリニューアルした30号。雲田君を写真一枚で表現する事は難しいですが、力のある写真を撮り伝えたいと思い一新しました。4 通信設置店の紹介。今では70店舗となった設置店さん、毎回楽しい情報を頂き、通信を見てお店を訪ねてくれる方も増えてきました。



50号をズラリと。ゆっくりでも着実に進み、今後もたくさんの方々に楽しんで頂ける冊子をつくりたいと思います。



「ココラボ設置店」より...

Patisserie jour du muguet



藤枝市岡部内容900-4
054-667-5104
10:00-19:00
定休/火曜日

御菓子處 桜屋



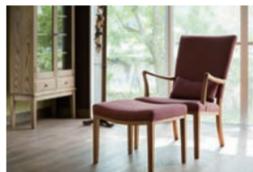
藤枝市岡部町内容943-1
054-667-0115
8:30-19:00
定休/月曜日

ゆとり庵



藤枝市岡部町岡部839-1
054-667-2827
9:00-14:00 完全予約制
定休/火曜日

baseS



藤枝市岡部町殿528
054-648-3113
10:00-18:00
定休/水曜日

Hand works Factory



藤枝市八幡248-1
054-643-8112
9:00-18:00
定休/不定休

白井煙火



藤枝市仮宿1133-1
054-643-8514
ご来店の際はご連絡ください

地酒BAR イーハドーフォ



藤枝市岡部町村良484-2
054-667-0023
18:00-23:00
定休/不定休 ※要予約

ココラボ通信を置いていただいているこだわりのお店をご紹介します。個性豊かで魅力的なお店ばかりです。ぜひお気に入りのお店を見つけみてください。



ギャラリー 桐の蔵



藤枝市前島2-28-11
054-637-3808
10:00-17:00
定休/月曜日

横山タンス店



藤枝市本町4-5-29
054-641-3580
8:30-19:00
定休/年中無休(不定休あり)

天然加天酵母パン工房 さくら



藤枝市若王子1-2-34
054-644-3490
10:00-18:30
定休/月曜日・火曜日・金曜日

SHOP 363



藤枝市八幡651-1
054-631-4363
10:00-18:30
定休/月曜日(仕込みによる休みあり)

すろーcafe モミの木



藤枝市志太1-6-10
054-645-2723
(水~金)11:00-17:00(土)11:00-20:00
定休/日曜日・月曜日・火曜日

パンの店 ラパン



藤枝市青木2-27-1
054-644-3980
7:00-19:00
定休/日曜日・祝日

蕎麦屋 八兵衛



藤枝市岡出山2-9-27
054-643-6262
11:00-21:00
定休/年中無休

茶房 華蔵



藤枝市藤枝5-6-48
054-641-0386
10:00-19:00
定休/月曜日・隔日曜日

レストラン イルチエントロ



藤枝市前島2-1-2
054-639-5885
11:30-14:00、18:00-22:00
定休/水曜日

カクタスハウス



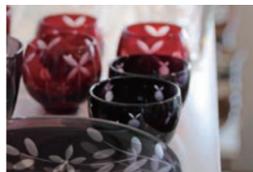
藤枝市高洲25-7
054-635-6403
11:00-20:00
定休/月曜日

藤枝第一助産院



藤枝市青葉町4-11-25
054-634-2522
来院の際はご連絡ください。

ことり



藤枝市前島3-8-1
054-635-4111
11:00-19:00
定休/木曜日

KoKolaB.

隔月刊 ココラボ通信 No.50
2014年8月10日発行

発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町 1047-2

TEL: 0547-54-4556

FAX: 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail: office@kokolab.jp

担当

中山葉月 (有限会社ころ木造建築研究所 建築部)
山崎良江 (「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、
FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社もしくは通信設置店では、

無料でお配りしております。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月刊発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、
住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

ココラボ通信も50号目となりました。今回は「おうちで手
づくり」をお休みして、創刊号からいまままでを振り返って
みました。「10年ひと昔」と言いますが、はじめにスター
トを切るのも、それを継続していくのも大変なもの。で
すが継続する原動力は「伝えたい気持ち」と、みなさんか
らの「嬉しい言葉」のおかげです。今後もよりよい情報をお
届けできるようにがんばっていきますので、どうぞよろ
しくお願いします。次は目指せ100号です!

(編集・デザイン担当/村上)



Information

🏠 「結の家」構造見学会を行います。

7月下旬に建前を行った『結の家』。新しいお宅が建ち並ぶ分譲地の中
に計画された落とし込み板壁構法のお宅です。敷地面積40坪の中にコンパ
クトに間取りを配置したプランですが、木製のコーナー窓に合わせて設け
た屋根付きのデッキスペースがこの家のメイン空間です。窓の開け閉め
で外部とも内部とも捉えることのできるこの空間は、季節に合わせて色々
と変化するスペースとして活躍すると思います。

今回は構造見学会と言う事で、全体の計画の他、落とし込み構法ならで
はの仕組みや構造的な特徴を見て頂けるとと思います。まだまだ暑い季節
の開催ですが、木の香りに包まれながらゆっくりとご覧ください。

- ◆ 予定日時: 2014年9月7日(日) 10:00~17:00
- ◆ 場所: 静岡市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。(ご予約後、案内図を送らせていただきます)



🏠 「こころば市」開催します。

ココラボの家づくりでは、たくさんの木材を使用しますが、できるだけ無駄なく使っても、
加工の過程でいろいろな寸法の端材が出てしまいます。捨ててしまうには、もったいない! 建築
現場では使えない端材でも、小さな棚や小物を作るには十分立派な材料です。そんな端材たちを皆
さんに使っていただきたいと思い、「こころば市」を行います。ぜひお越し下さい。

- ◆ 予定日時: 2014年9月6日(土) 10:00~16:00 (雨天中止)
- ◆ 場所: (有) ころ木造建築研究所 事務所前

※今後も定期的に開催する予定ですので、HPをチェックしてください

🏠 「木の家」相談会を行います。

家造りに関する本などを読んでも分かりづらいことって、たくさんありますよね。
我が家にあったプランや、健康的な建材…具体的な資金の事なども、気になるところで
専門家に何でも聞いてください。

- ◆ 日時: 2014年9月6・7日(土・日) 10:00~17:00
10月4・5日(土・日) 10:00~17:00
- ◆ 場所: (有) ころ木造建築研究所 事務所

※予約制となっておりますので、当社までご連絡ください。

「こころばスクール 2014」 第二回ワークショップを開催します

身近な日用品づくりにチャレンジ!

『はじめての木工』

昨年度も好評だった木工ワークショップを今年度も開催
します! 木の住まいづくりの主役である木の端材を使っ
て、住まいに「あったらいいな」、「欲しいな」と思う日
用品を自分の手で作ってみませんか? 端材の中には、い
ろんな種類の木材があります。樹種の特徴や性質のお話
もしますので、それをヒントにして上手に端材たちを活かして下さい。皆さんの考えた日
用品が形になって、日常生活を育む住まいづくりのお手伝いができれば幸いです。当日は、
ココラボスタッフと大工さんが一日お手伝いしますので、お気軽に声をかけて下さいね。



- ◆ 日時: 2014年9月28日(日) 9:00~16:00
- ◆ 場所: (有) ころ木造建築研究所 刻み小屋
- ◆ 対象: 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)
- ◆ 参加費: 500円/1人(保険代含む)

※当社HPのお問合せフォーム又はTEL・FAX・E-mailのいずれかでお申込み下さい。

その際、お名前・住所・電話番号・携帯番号・年齢をお伝え下さい。申込後に詳細を送らせていただきます。